

令和4（2022）年5月25日

河川課 企画治水担当

洪水浸水想定区域の指定・公表予定について

1 概要

栃木県では、水防法に基づき、19河川（洪水予報河川及び水位周知河川）の「洪水浸水想定区域図」を作成し指定・公表した。さらに、減災対策協議会の取組として、令和3年度までに令和元年東日本台風やこれまでに浸水被害が発生した44河川の浸水リスク想定図を公表してきたところである。

令和3年7月の水防法改正で、沿川に防護対象がある河川については、洪水浸水想定区域図を告示・公表することとなった。このため、減災対策協議会を通じて市町から要望があるなどした29河川を、令和4年5月の減災対策協議会を通じて告示・公表する。

併せて、県管理ダム下流域で既に公表している、9河川のダム下流域浸水想定図についても告示する。

また、これまでに公表した44河川についても、水防法上必要となる浸水継続時間の解析を令和4年度に実施し告示・公表することとしたい。

さらに、以下の169河川についても、令和6年度までに解析を行い、洪水浸水想定区域図を告示・公表していくこととしたい。

2 洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大について

新たに洪水浸水想定区域を指定する河川については、令和6年度までに解析を行い、洪水浸水想定区域図を告示・公表していく。については、市町に各河川の重要度について調査を行った上で、次のとおり作成年次を設定した。（詳細は、別紙「洪水浸水想定区域図作成スケジュール」のとおり）

令和4年度作成・告示予定：65河川

令和5年度作成・告示予定：54河川

令和6年度作成・告示予定：50河川 計169河川

※重要度、各市町の対象河川数、ハザードマップの作成時期を考慮し設定。

3 公表している浸水リスク想定図の浸水継続時間の解析・告示について

対象河川は、これまでに公表した以下の44河川。すべての河川を令和4年度に解析・告示する。

浸水リスク 想定図 県独自の取組	R1（東日本台風）以前に浸水実績があった河川（16河川）	公表日
	野元川、田川、釜川、武名瀬川、姿川、武子川、小藪川、大芦川、三杉川、菊沢川、矢場川、姥川、出流川（佐野）、名草川、熊川、黒川（那須）	R2.6.5
浸水リスク 想定図 県独自の取組	R1（東日本台風）に浸水実績があった河川（28河川）	公表日
	思川、秋山川、清水川（足利）、小菅戸川、粟野川、行川、赤堀川、荒井川、小俣川、柏倉川、彦間川、新川、尾名川、豊穂川、黒川（日光）、永野川、西武子川、赤津川、江川（宇都宮）、中川、江川（烏山）、木須川、奈良川、鹿島川、百村川、武茂川、藤川、三蔵川	R3.5.26

4 令和4年度のスケジュール（案）

時期	会議等名称	内容
令和4年5月25日	減災対策協議会	・指定対象河川拡大等のスケジュールの周知
令和5年1月～3月（予定）	市町意見照会	・公表内容の確認
令和5年3月（予定）	告示・公表	・洪水浸水想定区域図の公表

洪水浸水想定区域図作成・告示スケジュール

令和4(2022)年5月25日
河川課 企画治水担当

令和3年度に作成し 令和4年5月に告示する河川. Table with 4 columns: 番号, 関係市町, 河川名, 対象区間. Lists rivers like 江川(真岡), 武子川, 蓮台寺川, etc.

令和4年度に作成・告示する河川, 令和5年度に作成・告示する河川, 令和6年度に作成・告示する河川. Large table with 4 columns per section: 番号, 関係市町, 河川名, 対象区間. Lists rivers like 菱川, 御月川, 山田川, etc.

令和2年度に作成したダム下流域浸水想定図 令和4年5月に告示する河川. Table with 4 columns: 番号, 関係市町, 河川名, 対象区間. Lists rivers like 松田川, 中禅寺湖, 大谷川, etc.

※黄色着色河川は、再掲となる河川
※作成対象箇所数は、再270箇所であるが解析区間を分割している河川があるため、作成対象河川数は全243河川となる